

1 学校教育目標 平和で民主的な社会の形成者として、個性豊かで人間愛に満ち、国際的視野に立つて社会に貢献できる、心身ともに健全な人間を育成する。 ・地域を愛し、地域から愛される有工生を育て、地域に根ざした学校として更なる発展を目指す。 ・学力の向上を図るとともに、文武心三道確立を目指し、光り輝く有工生を育てる。 ・夢や目標を持ち続けるチャレンジ精神豊かな有工生を育てる。	2 本年度の重点目標 ①挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成。 ②学力向上対策の推進と資格取得による進路保障。 ③生徒会活動、部活動の活性化と文武心三道の確立。 ④保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進。 ⑤UDと5S運動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)の推進。
---	---

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価

①挨拶、服装、マナー指導の徹底と思いやりの心の醸成。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒指導	基本的生活習慣の確立	・挨拶・服装・マナー指導の徹底	・定期的な登校指導を実施し、登校してくる生徒への声掛けや挨拶を積極的に行う。 ・年間6回の服装・頭髪検査の実施と、正しい身なりの指導を進路指導と連携して行う。 ・携帯電話のマナーを守るように指導する。
			・交通安全教育と交通マナーの遵守	・年間の登校指導を通して、原付・自動車・自転車通学者に対してマナーの徹底を呼び掛ける。 ・関係機関と連携し、交通安全講話を実施する。
	○保健厚生	給食指導の充実	・給食の約束事を守らせる。	・職員給食当番を設定し、共通理解のもと指導を行う。
	●健康・体づくり	健康保持・増進	・健康に関する意識を高めさせる。	・保健・健康に関する講演会等を実施する。 ・保健だより等、保健に関する情報を生徒・保護者に提供する。 ・健康診断の結果を生徒・保護者に知らせ、健康への意識向上を図る。
			望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	・食に関する意識を高めさせる。
●いじめ問題への対応	いじめのない学校づくり	・いじめ件数0を目指す。	・いじめ予防教育と早期発見、早期対応の取り組みを心掛ける。 ・教育相談と連携し、悩み等を相談しやすい環境づくりをする。	
○人権・同和教育	人権・同和教育の推進	・人権・同和教育に関する職員の共通理解をはかる。講演会を行ない、近年の人権問題を生徒に伝える。	・高校支援だよりを配付、職員に人権問題への啓発活動に努める。外部から講演者を招き、生徒が関心を持てるような講話を行い、差別を行わない社会づくりの大切さを理解させる。	

②学力向上対策の推進と資格取得による進路保障。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	学力保障	・出席率92%の達成	・生徒昇降口の連絡掲示板に前日の出席状況を毎日掲示する。また、職員向けには、昼礼連絡時に前日の出席状況を確認する。欠席の多い生徒については、本人面談を行い、また、保護者との連絡を取り家庭との連携を図る。
			・単位履修率100%、修得率100%を目指す。	・欠課時間数については、毎週一覧を作成し担任・教科担任で確認する。前期の成績不振者については、後期に保護者同伴で担任も交えた特別指導を行う。また、定期考査前の放課後に各科目で補習計画を立て指導にあたる。
教育活動	○資格取得	資格取得指導	・受検者延べ数を生徒在籍数の50%、合格率が全受検者数の50%を目指す。	・年間の資格検定の実施日程を年度当初に生徒へ告知し、受験を呼びかける。また、合格による単位取得についてや、ジュニアマイスター顕彰制度についても周知する。合格に向けた学習時間の確保のため十分な補習日程を設定する。
	○就業指導や進路指導の充実	就業保障	・就業希望生徒の就業率80%を目指す。	・求人情報を積極的に収集し、生徒への紹介をする。生徒の就業状況や就業希望を把握し、就業を促す。事業所と連携をとりながら仕事への定着を図る。
		進路保証	・就職・進学率の100%を目指す。	・進路面談、面接指導の充実。全日制進路指導部、ハローワークと連絡を密にし、情報収集を確実に行う。保護者・本人の希望を把握し、適切な進路選択ができるよう1年次から情報提供、指導を行う。
運営	○教職員の資質向上	校内研修	・授業研究会を開催する。	・公開授業週間を年間2回以上設定する。

③生徒会活動、部活動の活性化と文武心三道の確立。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○生徒会(部活動、文化祭等の行事の推進)	部活動	・文化部は公募等へ積極的に取組む。 ・体育部は定通体育大会へ積極的に取組む。	・全員部活動に取り組む体制作りをする。 ・部活動の活動内容の充実をはかる。
		文化祭等の行事	・文化祭等の行事の見直しと、共同作業に積極的に取り組む。	・各クラスや生徒会役員が協力して取り組むよう指導する。 ・準備活動のための時間の確保をはかる。
	●心の教育	ボランティア活動	・ボランティア活動の充実を図る。 ・年間2回以上のボランティア活動をする。	・陶器市後に地域の清掃作業を実施する。 ・ボランティア活動のための機会を設定する。

④保護者、地域、産業界との連携強化と特色ある教育の推進を図るとともに、業務改善を進める。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
運営	○開かれた学校づくり	保護者との連携	・PTA総会への出席率40%以上を目指す。	・PTA総会の事前通知を、1か月前に行う。 ・総会周知と、内容の充実を図る。(給食試食・授業参観・クラス懇談会・個人面談等)
		企業との連携・改善	・年2回の事業所訪問により企業との連携を図る。	・事業所からの要望、意見を確実に把握し、生徒の指導に資する。
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	業務の平準化と会議の効率化	・業務改善に関する意見集約を年に2回行い具体的な改善計画を策定する。 ・会議時間の前年比20%減を目指す。	・業務改善に関する意見を集約し、業務の平準化を行い、職員の専門性をさらに向上させる時間を捻出する。 ・ICT活用を推進し、事務業務の簡素化、会議の効率化を図り、職員が生徒と向き合える時間を充実させる。 ・定時退勤、年次休暇取得を促進し、随時休養または医療機関受診ができるような職場内の相互関係を築く。

⑤UDと5S運動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)の推進。

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
活動	○保健厚生	学校環境の整備・美化	・学校環境の整備・美化への意識を高めさせる。	・ゴミの持ち帰り指導を行う。 ・月に一回を目安に清掃活動を行う。また、大掃除を年に2回実施する。 ・安全点検を毎月実施する。

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目